

# 億円でスタート 画』もスタート



## 3月定例会の あらまし

平成19年度第1回定例会は、3月2日より3月29日までの会期で開催され、奥州市男女共同参画基本条例の制定等条例制定6件、平成19年度奥州市一般会計予算議定について等予算15件、奥州市立保育所条例の一部改正等条例改正15件、奥州市一般会計補正予算（第6号）議定等補正予算15件、陳情7件の審議と、請願7件（内継続2件）の請願審査がおこなわれました。

市長並びに教育委員長の施政方針に対する質問は3月5日に行われ、一般質問は3月6日より12日までのうち、5日間の会期で行われ、21名の議員が登壇し、市長、教育委員長の考えを質しました。

3月12日には若手県後期高齢者医療広域連合議員の選挙が実施されました。

予算審査は議長を除く全議員で構成された予算審査特別委員会（数江興志元委員長）を設置し、市長・助役、及び各担当部門の部課長、各総合支所担当課長等の出席を求め3月13日より28日まで審査がおこなわれました。平成19年度奥州市予算15件については、奥州市一般会計に8項目、奥州市総合水沢病院事業会計に2項目の附帯意見を付して認定されました。

## 競馬組合への融資

## 岩手県・盛岡市ともに可決

## 奥州市議会82億円融資を可決

されました。

3月14日、岩手県競馬事業調査特別委員会（及川善男委員長）が開催され、今議会の焦点となっている競馬組合への330億円融資問題が議論され（融資スキームの内訳・奥州市・82億5千万円、岩手県・181億円、盛岡市66億円）、採決の結果、関連条例（岩手県競馬経営改善推進資金貸付基本条例が制定）ともに、82億5千万円融資が可決され、岩手県競馬組合に対して資金貸付が決まりました。

相原市長は、「毎年6億円の金利が発生し、その都度岩手県・奥州市・盛岡市の3者で負担しなければならぬ」「このままでは赤字を拡大しながら継続することとなり、これ以上赤字を拡大させてはならない」との理解を求めました。

議員からは、「廃止の場合競馬関係者への影響が大きい」「融資スキーム以外に解決する方法はないのか」「経営責任の明確化をすべきでは」等の質問が出されましたが、その後採決となり賛成多数で可決

## 競馬組合議員に 渡辺忠副議長を選任

奥州市選出の競馬組合議員に渡辺忠副議長が選出されました。これは奥州市選出の競馬組合議員郷右近浩氏の辞任に伴い新たに選出されたものです。

## 人権擁護委員の 諮問を承認

### 人権擁護委員

梅田靖光さん（62）	千田フキ子さん（58）	北条勝枝さん（50）
水沢区星が丘町3-12	前沢区古城字安久沢東32	前沢区生母字町40